

ASSIST REPORT

室内中のコンタミ分析（有機成分）

KAR018

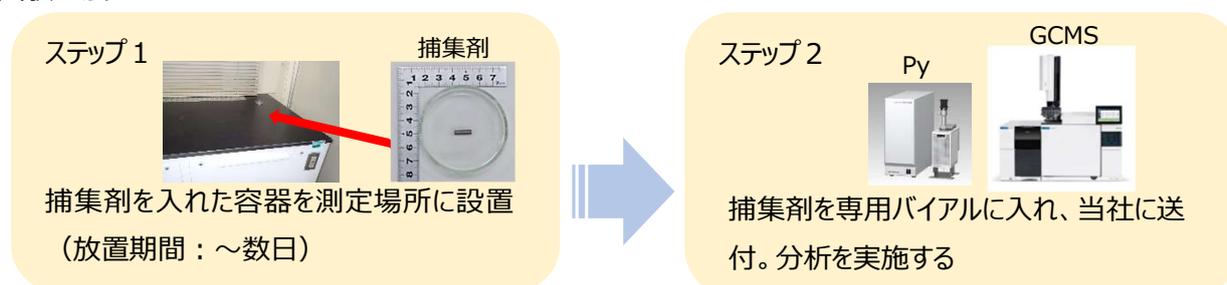
1. 室内コンタミ

製品品質の高精度化・高純度化が進む現在において、生産現場では環境設備や建築材になど予期しない原因で、製品が汚染（コンタミネーション、以下コンタミという）されることがあります。当社では、これらのコンタミ物質の原因となる物質を特定するための定性分析を提供します。

2. 試験対象物質

試験項目	対象成分
有機成分	低沸点～中沸点(例：アルコール、アルデヒド、炭化水素、多環芳香族炭化水素など)

3. 試験方法



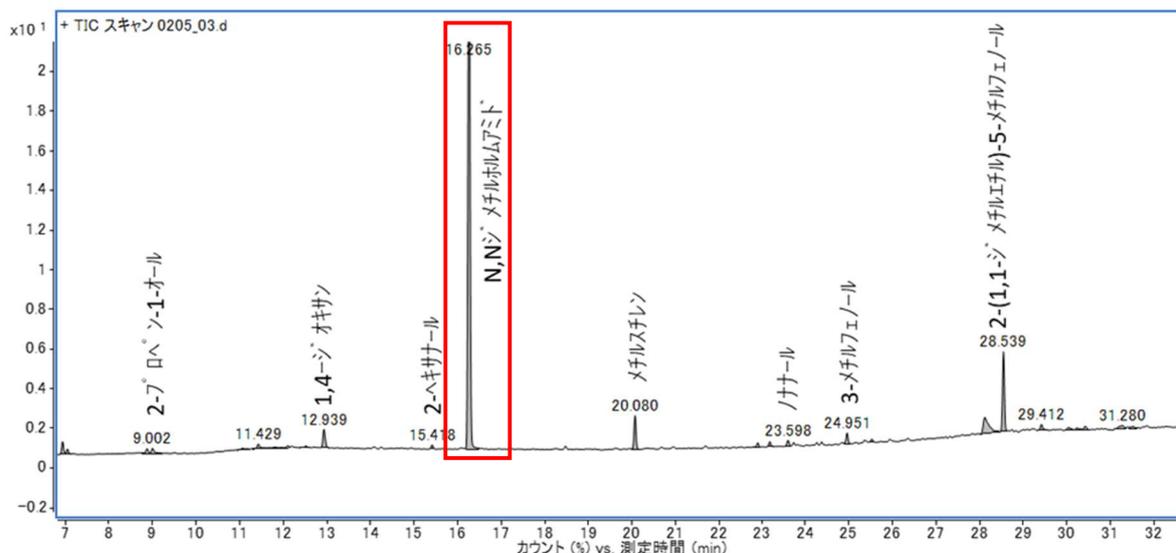
4. 実施例【有機前処理室】

有機溶剤を使用する室内での測定を行いました。

- 採取期間：7日間
- 試験装置：Py-GCMS

(パイロライザー-GCMS：試料(捕集剤)を加熱し発生したガスを成分ごとに分離して、同定・定量する装置)

- 結果：使用していたN,Nジメチルホルムアミドが多く検出されました。



当社では他に無機成分など、ご要望に合わせたコンタミ物質の評価方法を提案できます。

改装工事後（壁紙や床材の張替えなど）や新設現場の汚染確認、作業現場のモニタリングにご活用ください。